


第25回 かんきょうアイデア展 入賞作品 (敬称略)

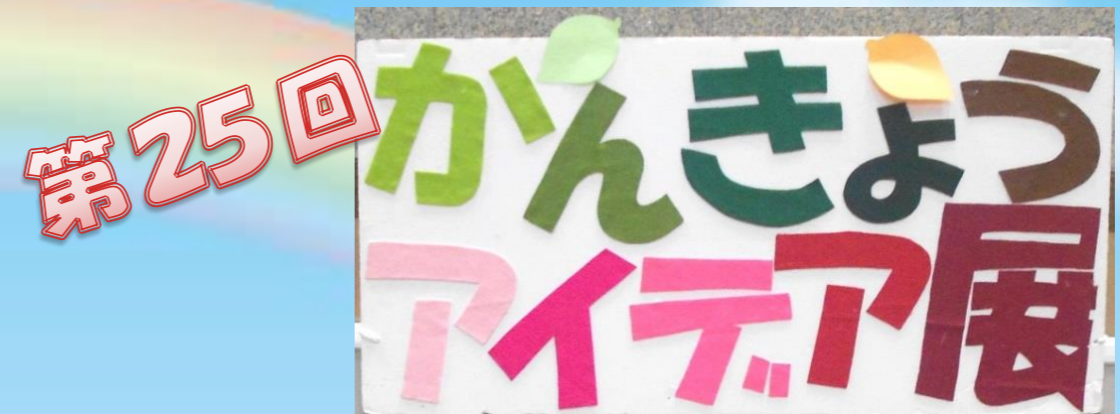
- ★ **区長賞** 「いろいろなものでそめよう」
自然の恵み部門 高橋 愛実 (高井戸第二小学校 1年生)
- ★ **教育長賞** 「止めよう!地球温暖化」
レポート部門 久山 夏和 (杉並第二小学校 6年生)
- ★ **理事長賞** 「ライトスタンド」
リサイクル作品部門 阿部 遼大 (井荻小学校 3年生)
- ★ **流木がよみがえったで賞** 「太古のクジラ」
リサイクル作品部門 石崎 颯人 (八成小学校 5年生)
- ★ **みんなポイ捨てやめま賞** 「ゴミ図かん3」
レポート部門 加藤 颯糸 (八成小学校 3年生)
- ★ **多様な文化に学びま賞** 「アイヌの「食」を知る」
レポート部門 加藤 銀平 (四宮小学校 5年生)
- ★ **人にやさしい音色で賞** 「スプーンでグロッケンをつくろう」
リサイクル作品部門 布施 琥太郎 (杉並第九小学校 4年生)
- ★ **トマト美人になるで賞** 「毎日トマト」
レポート部門 佐々木 晴 (杉並第十小学校 5年生)
- ★ **脱ぎ着が楽になったで賞** 「腰が曲がった人のためにズボンリフォーム」
リサイクル作品部門 山下 有美 (一般)
- ★ **ペットボトルをやめ、おしゃれにマイボトルで賞**
「これからの地球を守ろう —マイクロプラスチックへん—」
レポート部門 大谷 莉央 (済美小学校 4年生)

※ 各賞の写真は裏面をご参照ください。

 **NPO法人
すぎなみ環境ネットワークだより** URL <http://www.ecosuginet.jp/>
(休館日:水曜日・年末年始)

発行元: NPO 法人すぎなみ環境ネットワーク 〒168-0072 杉並区高井戸東 3-7-4 杉並区立環境活動推進センター内 4 階
Tel: 5941-8701・Fax: 3331-5212 営業時間: 午前 9 時~午後 5 時

環境活動推進センター Tel: 5336-7352 午前 9 時~午後 5 時
リサイクルひろば高井戸 Tel: 3331-4360 1 階 午前 9 時~午後 5 時 2 階 エコマーケット 午前 10 時~午後 4 時



「かんきょうアイデア展」は 25 回目を迎えました。資源を有効利用した手作り作品や 環境、自然に関するレポートを通して、生活環境や広く地球環境について考えることを目的に開催しています。会場の杉並区立環境活動推進センターに全応募作品を展示しました。

「リサイクル作品」「レポート」「自然の恵み」の 3 部門で、応募作品数は 84 点、81 名の応募者の中から、10 名の方が受賞されました。

◆作品展示: 10月4日(金)~10月14日(月) ◆表彰式: 10月14日

・・・かんきょうアイデア展 選考委員会から・・・

「いろいろなものでそめよう」は、1年生の大作です。ご家族で染め物をされているようで、身近にある20を超える植物を染めたらどんな色になるだろうと予想し、実際の結果がまとめてあります。染めた糸で織りも体験。自然の恵みを十二分に味わったことでしょう。

「止めよう!地球温暖化」は、「地球温暖化」を5年生で調べたが納得いかず、そのまま放って置かず再挑戦した6年生の力作です。いろいろな角度から実によく調べられており、まとめからその深さを感じます。

「ライトスタンド」は、木製ハンガーの肩形状をスタンドの傘に見立て、そうめんの包装紙を貼ってセンス溢れる電気スタンドに生まれ返らせた作品です。まとめに書かれたスタンド作りをめぐるって交わされた家庭でのユーモアあふれる

会話も読む人を和ませてくれました。今年、プラスチックによる海洋汚染を図書やインターネットで調べたものが多く寄せられました。自然の恵み部門に6点の応募があり、嬉しいことでした。

レポート部門では、調べた体験から実験や更なる調査にまとめている作品を評価しました。

リサイクル作品部門では、次の観点で選考しました。身の回りにある不要なものを使い、役立つものや日常使えるものになったか。自分で考えたアイデアか。丁寧に作られているか。ご家族の温かい協力で拍手を送ります。

各賞は、すぎなみ環境ネットワークの会員の投票と来場者のアンケートを参考に選定いたしました。

・・・各部門の内容・・・

☆リサイクル作品部門☆

使わなくなったものをアイデアとセンスで素敵に生き返らせてみましょう。材料はいらなくなったもの。表現方法は自由。

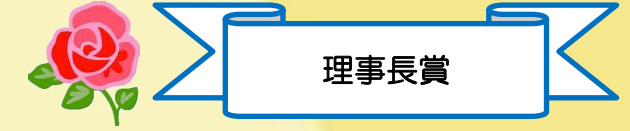
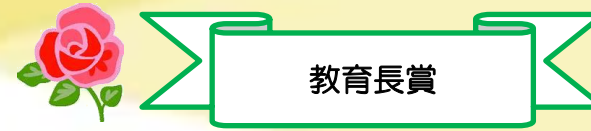
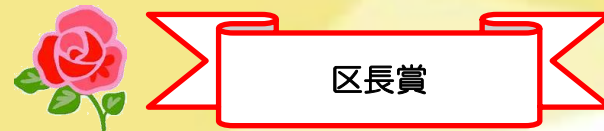
☆レポート部門☆

今話題の「海洋ゴミ」「食品ロス」など環境について調べたことや、環境を守るための活動や研究など。表現方法は自由。用紙は模造紙1枚程度

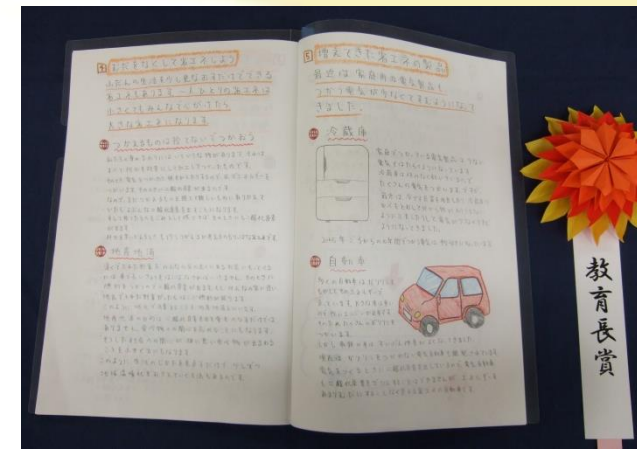
☆自然の恵み部門☆

緑のカーテン・打ち水・雨水利用など、自然の恵みを活かした取り組みを写真や文章で紹介したもの。用紙は模造紙1枚程度。





「いろいろなものでそめよう」
高橋 愛実



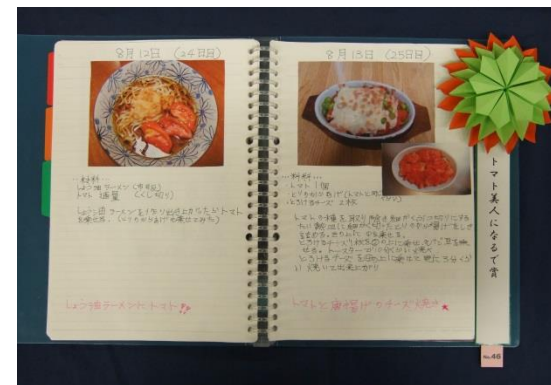
「止めよう！地球温暖化」
久山 夏和



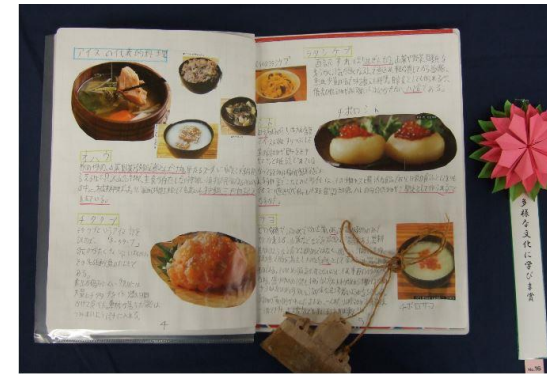
「ライトスタンド」
阿部 遼大



流木がよみがえったで賞
「太古のクジラ」
石崎 颯人



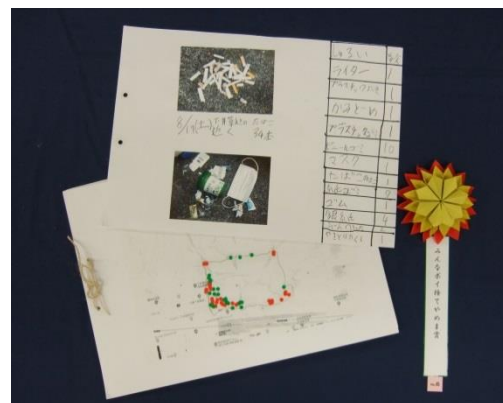
トマト美人になるで賞
「毎日トマト」
佐々木 晴



多様な文化に学びま賞
「アイヌの「食」を知る」
加藤 銀平



人にやさしい音色で賞
「スプーンでグロッケンをつくろう」
布施 琥太郎



みんなポイ捨てやめま賞
「ゴミ図かん3」
加藤 颯糸



脱ぎ着が楽になったで賞
「腰が曲がった人のためにズボンをリフォーム」
山下 有美



ペットボトルをやめ、おしゃれにマイボトルで賞
「これからの地球を守ろう
—マイクロプラスチックへん—」
大谷 莉央

会場のアンケートから

- * 当たり前のように創意工夫のエコ生活をしていた時代があった。
- * アイデア次第で新しく便利なものに活用できて、楽しい。
- * 「当たり前」に工夫し、生活に生かすことが大切！
- * ささまざまなアイデアが有り、着目点がおもしろい！
- * クオリティの高さにびっくりした。
- * 地球が危ないことを知って、マイバッグを持とうと思う。
- * 同じテーマでもさまざまな着目点で、それぞれ深く掘り下げた作品は、大人顔負けですばらしかった。
- * 来年は挑戦してみたいと思った。
- * 食品ロス・プラスチックごみの削減等、もっと広くひとりひとりが考えていくといいですね。
- * 真剣に考えている子どもたちを見て、大人もいろいろ考えさせられました。
- * 多くの子どもの作品を見る機会があって、ほほえましい。
- * 2つの作品を選ぶのが難しいほど、すばらしい作品ばかり。
- * 環境に興味を持ち、研究していることがとてもうれしい。
- * 思いつかないアイデアがあり、今後の参考になった。
- * 自分に出来ることに取り組みたいと思う。